

アメリカ合衆国大統領
ドナルド・J・トランプ様

イスラエル国首相
ベンヤミン・ネタニヤフ様

2026年3月3日
新日本婦人の会会長 米山淳子

アメリカとイスラエルによるイランへの無法な先制攻撃に抗議し、
即時中止を求めます

アメリカとイスラエルは2月28日、イランに対して先制攻撃を強行し、最高指導者ハメネイ師を殺害、子どもを含む多数の民間人を犠牲にしていることに、怒りを込めて抗議します。トランプ大統領は、イラン国民に対して体制転覆まで呼びかけています。これらの行為は、各国の主権の尊重と武力行使を禁止した国連憲章と国際法を踏みにじる暴挙で、いかなる理由があっても正当化することはできません。

アメリカは、「イランの核開発は許されない」と、昨年6月にもイランの核施設を攻撃しました。核問題解決に向けて、イラン側が仲介国に対して国際原子力機関（IAEA）査察受け入れに合意するなど建設的な協議がすすむなか、アメリカは一方的に軍事攻撃をおこなったのです。外交解決への努力を無にする行為を、断じて容認できません。

イスラエルもパレスチナのガザへのジェノサイド、ヨルダン川西岸での民間人攻撃と入植拡大を続け、シリアやレバノンなど周辺国への攻撃を繰り返しています。そこに住む人々の命と暮らしを一瞬にして破壊し、力づくで領土拡大をおしすすめる無法行為は、ただちにやめるべきです。

戦後の国際秩序を脅かし、中東地域はもとより世界の平和、民族自決や人権を侵害するアメリカとイスラエルに対し、「イランへの戦争NO」「外交解決を」と世界各地で市民が行動しています。武力では何も解決できません。私たちは、すべての国に対し、国連憲章と国際法にもとづく解決のためにあらゆる手立てを尽くすよう、つよく求めていきます。